

【副理事長所信】

生き抜く力確立委員会 担当  
2019年度 筆頭副理事長 葭葉 範史

晴れて創立50周年を迎えることが出来た昨年度は、歴代理事長を始めとする特別会員の皆様、その他数多くの皆様に例年以上のお力添えを賜りましたことに先ずもって感謝申し上げます。そして、新たな未来創出に向けて51年という一歩を踏み出す本年に、この大役を与えて頂いたことに感謝と誇りを持って、LOMの更なる進化・発展のために務めて参ります。

今ここに我々が真岡青年会議所の会員として存在していただけるのは、歴史を重んじつつも変化を恐れずに走り続けた先輩諸兄の姿があったからに他なりません。だからこそ、今年で卒業となる私も、JC活動を通して得ることが出来た多くの学びや経験をLOMに還元していかなければなりません。そして、押し寄せる変革の波や技術革新の波に飲み込まれないために、全メンバーが今まで以上の加速度を持って、価値ある伝統は継承しつつ独自性を見出し、礼節をわきまえた上で主体的に行動出来る人材を育てていく必要があります。

本年度、担当させて頂く委員会では、「唯一無二の考えと自分らしさ」を持って新たな価値を生み出し力強く突き進める人材の育成を行うことで、拡大に大きな役割を果たせる魅力あふれる組織を実現します。それが理事長の掲げた「O」というスローガンに込めた思いと考えを全うする術であるとの確信を持ち、担当委員長を始め委員会のサポートをして参ります。

最後になりますが、細野理事長を誰よりも理解し支えていく事を根幹に置き、強い思いと確固たる信念を持って「O」と向き合い、無限の可能性を掴んでいく先導者である気概を持って邁進してまいります。誰かの笑顔のために。